

利活用検討の土台

港湾としての機能

ランドデザイン

スポーツ・コンベンションセンターの基本構想

利活用のビジョン
・コンセプト

年間365日 賑わう拠点の形成

【3つの要素】

- ①かごしまの多彩な魅力を発信する人・モノ・情報の交流拠点
- ②かごしまの魅力を体感できるエンターテインメント空間
- ③景観資源(錦江湾や桜島, 歴史的建造物)を活かした魅力ある空間

検討委員会で出された意見を踏まえた今後の論点

| カテゴリー | 検討課題 | 今後の論点 |
|------------------|----------------------------|---|
| 景観への配慮 | 景観(デザイン)マネジメントのあり方 | ●「整備」と「保全」の空間デザインの方向性を具体的にどのように仕分けするか(桜島と錦江湾を間近に望み, イベント会場や県民の憩いの場として現在も利活用されているウォーターフロントパークは「保全」するとの議論の方向性であった)。 |
| 〃 | ウォーターフロントパークの緑地としての利活用の拡充 | ●スポーツ・コンベンションセンターとの一体的な利活用について, 具体的にどのような方法や取組が考えられるか。 |
| 中心市街地との連携 | 中心市街地(天文館, 中央駅)との役割分担と相乗効果 | ●本港区エリアはどのような役割を担うべきか(中心市街地(天文館, 中央駅)が主として担う飲食・物販等の商業的機能とは競合しないようにすべきとの意見あり)。 ●中心市街地(天文館, 中央駅)との回遊性を向上させるためには, 具体的にどのような方法や取組が考えられるか。 |
| 公共機能の確保(港湾や交通など) | 港湾として確保すべき機能 | ●北ふ頭, 南ふ頭及び高速船ターミナルについては, 港湾の核心的機能である人流・物流の海上交通の拠点として, 各離島の生活と経済を支える重要な役割を担っていることから, 船舶の離接岸, 乗下船, 荷役, 陸上運搬などに支障がないようにするため, 利活用の全体像を検討するに当たってどのような点に留意すべきか(大規模施設の駐車場に起因する渋滞がないようにすべきとの意見あり)。 |
| 観光 | 観光拠点としてのあり方 | ●本港区エリアの観光拠点としてのあり方をどのように考えるか(クルーズ客を受け入れ, 農畜産物など県産品の飲食・物販の拠点として外貨を稼ぐような国際観光都市との意見あり)。 |
| 導入機能 | 導入すべき機能 | ●景観への配慮, 中心市街地との連携, 公共機能の確保, 観光などに関するこれまでの意見や, グランドデザインとの整合性を踏まえ, どういった機能(例:緑地, 観光, 交流等)を導入すべきか。 |

望まれる利活用の全体像

- 利活用のあり方や, どの場所にどういった機能を持たせるかというゾーニングの方向性をどのように考えるか(中長期的な視点からの利活用の検討, 民間活力の導入, 商工会議所からの提言などの意見あり)。